
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年9月9日号

©2009年7月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年7月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は6ヵ月連続して上昇

2009年7月の国内トウモロコシ価格は全面的な上昇となった。

国内産地平均卸売価格は、1トン当たり1,622元、前月比5.1%高、年初の15.8%高、前年同月比0.5%安となった。そのうち、東北産地卸売価格は同1,562元、同1.8%高、同2.3%高、年初の16.7%高、華北黄淮地域（黄河及び淮河流域には含まれた地域）産地卸売価格は同1,651元、同6.3%高、同1.6%安、年初の16.8%高、消費地平均卸売価格は同1,849元、同3.8%高、同3.6%安、年初の13.6%高であった。

2 国際価格は大幅下落、直近3ヵ年の最低価格を下回る

米国USDAの7月のトウモロコシ作付面積と期末在庫、トウモロコシ作柄は昨年同期を上回るとの結果を受け、国際価格は大幅に下落した。

2009年7月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均FOB価格は、1トン当たり152ドル、前月比15.8%安、前年同月比44.9%安と2007年以降の最低価格となった。シカゴ先物価格は同133ドルで、同18.6%安、同48.6%安となった。

3 内外価格差は縮小

2009年7月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシFOB価格を1トン当たり1,035元と換算すると、国内産地におけるトウモロコシ卸売価格に比べ587元安となった。

通関後価格（CIF＋関税等）は1トン当たり1,766元、同時期の国内東北トウモロコシの南方消費地港（広州埔港）港価格に比べ21元高く、価格差は6月に比べ207元縮小した。

4 トウモロコシ輸出は前年比大幅減

海関統計によると、2009年6月の中国のトウモロコシ輸出量は前月比93.4%増、前年同月比16.78減の30,884トン、一方、輸入量は同63.6%増、同39.21%減の1,110トンとなった。

2009年1～6月の累計輸出量は、前年同期比52.9%減の59,570トン（主要輸出先国は北朝鮮で輸出量の88.1%を占める）、同期間の累計輸入量は、同61.9%減の3,224トン（主要輸入先国は米国）となった。

5 2009/10年度の世界のトウモロコシ予想生産量は増加の見込み

国際穀物理事会（IGC）の2009年7月の需給予測によると、2009/10年度の世界のトウモロコシ生産量は前月の予測に比べ1,300万トン増加し、前年度比0.8%減の7.81億トン、消費量は前月の予測に比べ500万トン増加し、前年度比2.1%増の7.93億トン、貿易量は前月の予測に比べ100万トン増加し、同1.2%増の8,400万トン、在庫量は前月の予測に比べ1,600万トン増加し、同8.3%減の1.33億トン、在庫消費比は16.8%と予測されている。